

明けましておめでとございませう。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

私は平成16年11月、市民の皆様のご温かいご支援により市長に就任させて頂いて以来、「小さくてもキラリと光る、住んでみたい、住んで良かったと言われるまちづくり」を基本姿勢に、施策の展開を図ってまいりました。

この間、皆様からいただきました格別のご理解、ご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

顧みますと昨年は、映画「となり町戦争」の全国上映を皮切りに、4月には、坊っちゃん劇場の第2弾ミュージカルコメディ「吾が輩は狸である」の上演が開始されるなど、芸術文化の明るい話題で幕を開けました。昨年11月に「坊っちゃん劇場」が、当初の予測を上回るペースで、観劇者数10万人を突破したことは、市民の皆様へ愛され、この地にしっかりと根を下ろしたものと、大変心強く感じております。

また、合併協議の中でも、最重要課題として位置付けられました「学校給食センター」を新設するとともに、市民生活における「安全・安心なまちづくり」を目指し、21世紀の消防を担うにふさわしい機能を備えた「東温市消防庁舎」「防災センター」の完成。来年度からは、消防職員を増員いたしました。皆様に安心して

平成20年 年頭のご挨拶



だけの消防機能の充実強化を図ってまいります。

特に、昨年12月には、活力ある個性豊かな地域社会を形成するため、愛媛大学と「医療福祉の向上や教育の振興、産業活性化等に関する協定書」を締結し、従来にも増して、愛媛大学の先生方の協力を得られることになりました。

さらに今年、川内地区における児童福祉の更なる向上を図るための児童館の建設、築後40年を経過し老朽化が著しい「市営下沖住宅」の建て替え、小中学校施設の耐震補強等を計画しているところでございます。

ところで、昨年8月発行の週刊ダイヤモンドの「安心して住める街、全国805都市ランキング」で、東温市は全国805都市中、第20位にランクされました。さらに、月刊「現代」10月号の「団塊が住みやすい街ランキング」では、全国第4位に輝きました。

我が東温市には、愛媛大学医学部や愛媛病院のほか、数多くの開業医療福祉施設など、充実した医療機関等で、「安心度」が高く評価されたものであり、これもひとえに、先人や先輩諸氏、皆様方のお陰であります。

今や我が国は、未だかつて経験したことのない人口減少社会に突入しており、これまでの人口増や経済の安定的な発展を前提とした社会システムを根本的に見直さなければならぬ時代を迎えております。

地方自治体を取り巻く状況も同様に

経験したことのない速さで変化した結果、財政力をはじめ、あらゆる面で自治体間の格差が広がり、「官から民へ」、「中央から地方へ」の大きな流れの中で、自治体本来の力量が問われています。

この恵まれた自然環境の中に暮らす私たち東温市民が、真の豊かさを実感するためには、まちづくりの主人公である皆様とともに次なるステージに向けて、絶えず挑戦していく姿勢が不可欠であります。

光陰矢の如し。市政をお預かりして3年余りが経過いたしました。

私は、この間、様々な改革を市民の皆様とともに進めてまいりましたが、今一度、初心に帰り、市民の皆様の夢と希望の実現に向け、公平公正で、市民本位の市政を貫くとともに、地域づくりの主役である「市民の皆様との協働で進めるまちづくり」こそが、これからの地域づくりの源であると確信しております。

地域間競争に勝ち抜き、「住んでみたいまちナンバーワン」を目指して、これからも、職員ともども全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方の、力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が東温市にとって、また皆様方にとりまして、明るい話題に満ちあふれ、平和で良き年となりますよう祈念しまして、年頭のご挨拶といたします。

東温市長 高須賀 功

明けましておめでとございます。市民の皆様におかれては、平成20年の輝かしい新春をご清祥にお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素は、市政の推進と市議会活動に対し、温かいご支援と多大なご協力をいただき、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、東温市は、一昨年の「坊っちゃん劇場」のオープンや映画「となり町戦争」などの文化芸術による全国発信に続き、昨年は「安心・安全」のまちとしてマスコミに取り上げられ、全国に知れわたることとなりました。それは、月刊現代紙10月号の「団塊が住みやすい街ランキング」などで、全国4位という高い評価を得たことです。これは、医療水準の高さと、道路や鉄道などの生活基盤が整い、人口も増加しているということが高く評価されたと考えられますが、先人が残された偉大な業績が評価されたものでございます。各地で病院不足、医師不足が問題となる中で、市民の安心安全にとっては大変幸甚なことでございます。

近年の国家財政の逼迫の中で、新たな行政需要に对应、市民の皆様福祉向上を図るには、今までの自主財源の確保が必要です。そのためには、限られた地域資源を効率的に活用し、地域産業を活性化することが求められます。

その一つ目の方策は、地域、住民、観光関係者が積極的に観光交流を活発化させることです。

『見奈良天然温泉利楽』や『坊っ

A Happy New Year 2008



ちゃん劇場』他合わせて年間数百万人を超える集客力があり、特に『坊っちゃん劇場』は、小説坊っちゃんが生み出した、西日本初の地域文化発信の常設シアターとして、その活動が広く注目されている東温市の誇れる財産であります。また、上林森林公園の『風穴』と『ソーマン流し』は、豊かな自然の中で、近年の自然志向・健康志向の高まりや「いやし」を求めるニーズに十分に応えるものです。スポーツ施設としては、国内最大級のスノーボード施設『アクロス重信』。川内地域には、雄大な自然に囲まれた落差96メートルの『白猪の滝』があり、深緑や紅葉はもとより凍結した滝は見事で、冬場でも多くの人々で賑わっています。更に、観光雑誌「じゃらん」で県内一の泉質と評され、年間36万人が訪れる市営温泉施設『ふるさと交流館さくら湯』があります。本年は、このような魅力あふれる観光地を線で結ぶ観光ルートの開発・展開に力点をおいて、昨年立ち上げました松山市、砥部町、東温市の広域観光連携事業を一層推進したいと考えております。活力ある元気なまちづくりは、人が集まることから始まり、物やお金が動く。観光事業はまさに打って付けの事業であります。

生かした企業誘致です。雇用の確保と税収増のため、行政と議会は一緒になってその受け皿作りに積極的に取り組むたいと考え、議会に企業誘致特別委員会を設置して若者の定住するまちづくりを進めております。「入るを図って出を制す」。東温市は独自の取り組みで自主財源を確保する一方、民間発想に基づき、現状打破で行政のスリム化、効率化を図ることによって、最小限の支出で最大限の魅力あるまちづくりを実現し、市民の皆様にご協力をいただき、心から厚くお礼を申し上げます。

議会におきましては、議員定数を現在の24から6人減の18人とする大幅な削減を決定する一方、議員の資質の向上に努めるとともに、市民の皆様との対話に重点を置き、引き続き、皆様のご意向に沿ったさまざまな提言を積極的に行ってまいりたいと考えております。

議長として3年を経過し、本年は総仕上げの年でございます。東温市の5年後10年後をしっかりと見定め、今必要なさまざまな改革を、現状打破の精神でしっかりと実行して参りたいと考えておりますので、皆様におかれては、相変わらぬご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

本年が、皆様にとって素晴らしい飛躍の年になりますよう心からお祈りいたします。年頭のご挨拶いたします。

もう一つは、恵まれた立地条件を推進であります。

東温市議会議長 佐伯 正夫

偏食、運動不足、喫煙、
ストレス。

生活習慣病は、私たちの
毎日の生活習慣の積み重ね
によって引き起こされる病
気のことです。

現在、日本人の死亡原因
の3分の2近くが、この生
活習慣病だといわれていま
すが、この生活習慣病は、
かつて「成人病」と呼ばれ
ていました。これは発症の
原因が加齢によるものが多
いと考えられていたため
ですが、悪い生活習慣の積
重ねが病気の進行に深く関
与していることがわかった
ため、名称が生活習慣病と
改められました。

生活習慣病の改善のポイ
ントは、自分自身の生活習
慣です。

新年を迎えた1月、生活習
慣をもう一度、見直してみ
ませんか。

いよいよ、冬本番。

寒いから、外に出たくな
い、と思っっている人も多い
かもしれません。

いくら寒いからといって
家の中でゴロゴロしている

お正月から始めよう 今年には体にイイ事を

初詣や初日の出に出かけて「無病息災」と願かけされた方も多いのではないのでしょうか。

健康のために運動を始めたい、食事の内容を変えたい、でも、いざ実行するとすると簡単にはなかなかできないと思っているあなた。

一年の計は元旦にあり。今年一年、何か体にイイ事を自分の健康づくりに向けて考えてみてはいかがでしょうか。

と、活動量は減るばかりで
す。

年末年始は、食べたり飲
んだりする機会が増えます。
そうなると、運動で使われ
なかつたエネルギーは、ど
こへ行くのでしょうか。

答えは「脂肪」です。

脂肪は様々な生活習慣病
を引き起こすものになって
いるので、気をつけなくて
はなりません。

健康指向が高まる中、手
軽にできる運動としてウオ



ーキングが人気を集めてい
ます。

ウォーキングは、酸素を
体の中に取り入れながら、
継続して行うことができる
有酸素運動のことで、生活
習慣病を予防する方法とし

ても有効なものです。有酸
素運動には、ウォーキング
のほかにジョギング、サイ
クリングなどがありますが、

生活習慣病を予防するた
めには、自分の能力の5
割程度の強度、つまり、

今日から始めよう ウォーキングは健康長寿の源



とうおん健康づくりの会
8班班長(下林地区) 森 文敏

晩秋の11月22日、「とうおん健康づくりの会」主催のウォーキング会が総勢94名参加して、愛媛県花き総合指導センター往復5キロメートルのコースで開催されました。

午前9時に中央公民館に集合し、受付や筋トレの後、9時30分に出発。10時に花きセンターに到着後、玄関前で記念撮影。各自で紅葉した構内を散策したり、友達やグループで温室に入り、晩秋の花を觀賞しました。

帰路は再度、全員集合で記念撮影の後、10時50分に出発。11時20分に帰着しました。花きセンターには、大ぜいで訪問し、たいへんお世話になりました。

当日は前日までの寒さも和らいでウォーキング日和となり、市の健康推進課の職員のご支援も頂き、予定どおりに無事に終了。コース途中の県道横断も無事通過し、市役所横～田窪間の田んぼを通る道は、幅も広く交通量も少なく、会話も弾み元気で参加できた幸せを喜びあっていました。

ウォーキングで心地よい疲労と汗をかき、リラックスできたことや会員同志の出会いが日頃のストレス発散やコミュニケーションに役立ったようでした。また、「次回も元気で参加しようね」と約束しあう会員も見かけられました。

東温市はウォーキングのできる場所やコースに恵まれています。季節、天候や体調を考えて誰でもいつからでも始められる軽いスポーツでもあります。元手いらずで年齢も関係ありません。継続すれば健康維持、増進や肥満防止にも効果があります。まだの方は始めてみてはいかがでしょうか。健康で楽しく生活したいものです。そして、春と秋のウォーキング会にはできるだけ多くの方のご参加をお待ちしております。

「健康は富に勝る」

11月22日、「とうおん健康づくりの会」が主催するウォーキング会が開催されました。
当日は、総勢94名が参加。集合場所の中央公民館で入念なウォーミング・アップをしたあと、折り返し地点の愛媛県花き総合指導センターを目指しました。
花きセンターで晩秋の花々を散策した参加者は、いきいきとした表情でウォーキングを楽しんでいました。
今回で、3回目の参加となる「とうおん健康づくりの会」の森 文敏さんにお話をうかがいました。

軽く汗ばむ程度が目安となります。
これらの運動には、心肺の機能が強化され、血液の循環がよくなり、余分な脂質を減らして、善玉コレステロールを増やす効果があります。
激しい運動をした方が、効果があるように勘違いしがちですが、激しい運動よりも軽い運動の方が、有酸素運動を効率的に行うこと

ができ、同じ時間で脂肪燃焼量が多くなるのです。
ウォーキングを始めるなら、1日7500歩〜10000歩を目標に歩きたいものです。
ただし、いきなりたくさん歩くと、膝や腰を痛めるので、まずは今よりも1日10分余分に歩くことから始めましょう。これだけでも体重や体脂肪が減少したり、血糖のコントロールが良く

なることがわかってきています。
歩きはじめは寒くても、さっそうと歩けば体も温まり、気分さう快間違いなしです。
自動車の普及で生活は便利になる一方、私たちは歩く機会が少なくなりま

マイカーで通勤して、仕事の大半はパソコンの前で座っている、一日に1000歩も歩かないという方も多いのではないのでしょうか。
現代人に運動不足が多いのは、「歩かなくなったこと」と「体を動かさなくなったこと」が最大の原因。つまり、生活の基本となる動作が不足しているのです。「いざ、運動」と気負わ

なくても、日常生活のなかでできる、自分にあつた運動をみつけてみませんか。
たとえば、買い物先に近場を選んで歩いて行く。ひとつ前の駅やバス停で降りて、ほんの15分でも歩く時間をつくる。エレベーターに乗らず階段を使うなど、ちよつとした工夫や心がけでいつも以上の運動ができるのです。

生活習慣病は知らないうちに忍び寄ってきます。

私たち一人ひとりが健康な生活を送るために必要なことは、まず自分の体の健康状態をきちんと把握しておくことです。

各自が自覚を持って健康管理を行っていかねれば、健康な生活を送ることはできません。

生活習慣病が恐ろしいのは、自覚症状がほとんどないまま、体の中で静かに進行していくことです。

生活習慣病を予防するためには、まず自分の体や健康状態に関心をもち、よりよい生活習慣を身につける、そして健診を受けて、自分の健康状態について知ることがとても大切になります。

健診結果に現れた異常の多くは、生活のゆがみを修正することで良くすることができます。健診は、自分の生活習慣を見直す絶好のチャンスなのです。

かつては、自覚症状が出て重病になる前に病気を早期発見しようというのが健



糖尿病予防教室では、食生活についてのさまざまなテーマを学習したあと、調理実習も実施しています。皆さんも自分自身の健康のため、日頃の食生活を振り返ってみませんか。



市では、市民の皆さんの健康づくりを支えるため、さまざまな取り組みを進めています。これらの活動は多くの市民の方に支えられています。毎年行われている健診では「とうおん健康づくりの会」の健康応援部会と、食生活改善推進協議会の方々が、ボランティアで協力しています。今年度の基本健診の診察相談では、「とうおん健康づくりの会」の皆さんが、会の活動紹介や入会の案内などを行いました。



診の主な目的とされています。

ところが現在では「予防健診」といわれているように治療よりも、むしろ予防が主眼になっていきます。

毎年の健診データを比較しながら自分の状態を確認して、少しでもデータが悪ければ、その点に注意して生活習慣を改善し、病気に

ならないような努力をしましょう。

自分のことは自分が一番よく知っていると思いがちですが、そこに大きな落とし穴があります。

そのまま病気に気付かず、また気づいても「自分は大丈夫」と治療をせずに放っておくと、ある日突然心筋梗塞や脳梗塞などが起

こり、取り返しのつかないことになりかねません。

生活習慣病は、自覚症状が無いものが多く、気付いたときには、手遅れになることもあるのです。

「とうおん健康づくりの会」は、市が実施している

健康診査の会場で、会場内の誘導などのボランティア活動をしたり、活動内容をパネルやリーフレットにまとめ、入会の案内などを行っています。

「とうおん健康づくりの会」健康応援部会の篠崎幸夫さんに、健康づくりの体験や抱負について話していただきました。

「とうおん健康づくりの会」健康応援部会の篠崎幸夫さんに、健康づくりの体験や抱負について話していただきました。

健康はお宝 みんなで支える健康づくり



とうおん健康づくりの会
5班(牛淵地区) 篠崎 幸夫

寝ている時に無呼吸があるといわれて病院へ行くと、狭心症の疑いがあり心臓カテーテル治療でバルーンが2つ入りました。以来、体重を減らすため、1日1万歩を目標にウォーキングが始まりました。日本列島踏破大作戦です。

ウォーキングは、現在も続けており、1日平均8,900歩を土日を除いて汗を流しています。始めた当初は体重が5kg位減りましたが、未だに標準体重の10%以内に減りません。

市の基本健康診査の診察相談で、「運動しても体重が減らない」ということで、改めて栄養相談の日を予約しました。病態別栄養相談では、食事記録表を見ながら管理栄養士さんから、過食によるカロリーオーバーの指摘があり、夫婦で食生活改善についての相談を受けました。

半年後、検査結果を持って相談しました。相談を受ける時は意識しており、カロリー超過は多少減っていましたが不十分でした。

私の食生活の目標は、「食事はゆっくりよく噛むこと」「食べ過ぎないこと」「間食を減らすこと」です。

現在では、「とうおん健康づくりの会」のメンバーとなり、健診のお手伝いなどの活動をしています。昨年できた会のシンボルマークのように、「健康」をお宝に、まず、自分から皆さんと一緒に健康を支えていきたいです。

受診者の皆さんから、健康応援部会のボランティアが役立っていると、お礼を言われると励みになり、今後もさらに活動したいと思っています。健康応援部会は、高齢のため引退される方もおられますが、会員は増えており、たいへん力強く感じています。



一月はおせち料理や新年会など、つつい食べ過ぎになる機会が多くなる季節。最近太ってきたなあ、と気になるあなた、まずは自分でウエストを測ってみましょう。男性なら85cm以上、女性は90cm以上だったら、要注意です。

私たちの食生活は、昔と比べて大きく変化してきました。昭和50年代は、主食の米を中心に水産物、畜産物、野菜などの多様な副食品が加わったバランスの良い、いわゆる、日本型の食生活でしたが、今では、ファーストフードやコンビニ弁当、スナック菓子などのとりすぎによる食生活の変化に伴って、栄養のバランスが崩れ、生活習慣病の原因として懸念されています。

また、数年前からは、低年齢の子どもたちのなかでも高血圧や肥満などの症状が見られるようになってきました。これは、テレビゲームなどによる運動不足や、好きなものをいつでも食べられる飽食の時代から、消費する以上に過剰にエネルギーを摂取していることが原因だといわれています。

子どもの頃からバランスのよい食事を心がけ、よく噛んで腹8分目を心がけることです。いずれにしても、健康に肥満は大敵です。時代の流れとともに、私たちの食を取り巻く環境は、大きく様変わりしてきました。

た。豊富な食材がそろい、いつでもどこでも手軽に食べられる環境、あふれる食の情報など、現代の食生活は一見、満ち足りているかのように思えます。しかしその一方で、栄養バランスの乱れや孤食などによる食事の偏りから、生活習慣病が広まりつつあるのも事実です。食生活は、私たちの生活の基礎になるもの。新年を迎え、自分の健康を保つためにも、バランスよく食べることです。そのためには、主食と主菜、それに副菜を揃えた食事にするのが大切です。主食とは、ごはん、パンなど、糖質の多いエネルギー源となるものです。穀類を毎食とることが、バランス食の第一歩です。そして、栄養バランスや安全な食品などを、様々な観点から考え、毎日の「食」を選ぶ力を育てましょう。「食べる」ということは、生きていくうえで必要であると同時に、生きる楽しみや喜びにつながる、とても大切なものなのですから。

民 生児童委員は、市民の皆さんに
 応じ、様々な支援を行っています。
 12月1日に全国一斉に改選が行われ、
 新しい民生児童委員が決まりました
 ですのでお知らせします。



民生児童委員は あなたの身近な相談相手

一人暮らしになった…福祉サービスを受けたい…
 など私たちの暮らしの安心を支えるために、民生児童委員は皆さんと一緒にのまぢで生活しながら、心配ことや困ったことを解決するお手伝いをしています。

民生児童委員とは

民生委員は「民生委員法」によって設置が定められています。そして、すべての民生委員は、「児童福祉法」によって、児童委員も兼ねています。また、民生児童委員の中には、児童福祉を専門に担当する主任児童委員がいます。

暮らしの中での心配ことや困ったことについて、皆さんの立場に立って相談に応じています。相談内容が他に漏れることはありません。

相談したい方は

現在、東温市では66人の民生児童委員がそれぞれの地域で活躍しています。

子育てのこと、学校のこと、介護のこと、経済的なことなど、なんでも構いません。お住まいの地域の民生児童委員に気軽にご連絡ください。担当の民生児童委員がおわかりにならない場合は、市役所社会福祉課（☎964・4406）までお問い合わせください。

重信地区民生児童委員名簿

山之内	鈴木ヤエ子	964・0634	新	相原 宏徳	090・4505・2443
樋口	酒井 清子	964・8962	上	森 京子	964・9185
横河原	恒岡 雪江	964・6085	下	高須賀俊彦	964・3300
	井門 弘次	964・6528	上	松下 文雄	964・3468
	芝田 敬子	964・2988	上	門田 覺	964・3874
	和田百合子	964・5214	上	石丸 臣一	964・2385
志津川	高塚 正一	964・2116	主任児童委員		
	池田 益美	964・1173		石丸ひとみ	964・9292
	大谷 早美	964・1355		久保 昌美	964・5839
	塩出 初美	964・1377	川内地区民生児童委員名簿		
西岡	山田佐智子	964・6340	河之内	坂口 洋	966・3688
	松本 弘之	964・6640		佐伯ミネ子	966・3632
	見奈良 佐伯 和子	964・8361	河之内東	長曾我部立男	966・2437
	和氣 静子	964・9583		武智 昌義	966・2250
	田窪 初美	964・9867	則之内西	青木 茂	966・4287
	中村 法子	964・9560		高須賀健博	966・3860
	田村 孝枝	964・8859	井内	東 愛代	966・3845
	相原富美子	964・2584	滑川	渡部 昌子	966・1405
	高井 秀和	964・5205		内田 勝尉	966・5224
	相原 保	964・9373	土谷	佐伯 博重	966・3508
	渡部 禮造	964・3918	奥松瀬川	森 通香	966・2940
	矢野 修行	964・0822	前松瀬川	寺田 利重	966・2716
	安部 慶子	964・2248	横瀬団地	秦 絹子	966・5071
	桑原 佳彦	964・6649	北方東	高須賀由紀子	966・6030
	末光 國重	955・0606		佐伯 禮子	966・2495
	池田 豊彦	964・8499	北方西	田中 宏美	966・3255
	岡田 正幸	964・9718			
北野田	北野田 正幸	964・9718			

今支える、将来支えられる。世代と世代の大きな輪。

国民年金は、すべての公的年金の基礎となり20歳から60歳まですべての人が加入し、保険料を納め、支え合う制度です。加入者は職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きや保険料の納付方法が違います。

国民年金の加入者は次の3種類です！

<p>第1号被保険者 自営業、農業、漁業、学生など20歳以上60歳未満の方</p>  <p>届出先 市町の国民年金窓口へ</p> <p>保険料の納め方 口座振替または社会保険事務所より送付される納付書により収めます。</p>	<p>第2号被保険者 厚生年金保険、共済組合に加入している方(会社員、公務員など)</p>  <p>届出先 勤務先へ</p> <p>保険料の納め方 厚生年金や共済組合の保険料を納めます。</p>	<p>第3号被保険者 第2号被保険者に扶養されている配偶者で20歳以上60歳未満の方</p>  <p>届出先 配偶者の勤務先へ</p> <p>保険料の納め方 ご自分で納める必要はありません。配偶者の年金制度が負担します。</p>
---	--	--

こんなときは手続きをお忘れなく！

結婚や就職、転職など人生の節目には、届出が必要です。

こんなとき	どうする	届 け 先	届出期限
20歳になったとき	厚生年金・共済組合加入者以外は国民年金に加入の手続きをする	1号被保険者 市町役場へ 第3号被保険者 配偶者の勤務先へ	14日以内
会社を退職したとき	本人及び配偶者は国民年金に加入の手続きをする	市町役場へ	14日以内
結婚や退職等で配偶者の扶養になったとき	第3号被保険者への種別変更の手続きをする	配偶者の勤務先へ	14日以内
配偶者の扶養からはずれたとき	第1号被保険者への種別変更の手続きをする	市町役場へ	14日以内
配偶者が就職したり、会社をかわったとき	第3号被保険者となる手続きをする	配偶者の新しい勤務先へ	14日以内
年金手帳をなくしたとき	再交付の手続きをする	第1号被保険者 市町役場へ 第3号被保険者 社会保険事務所へ	すみやかに
口座振替を開始・停止・変更するとき	口座振替依頼・辞退書を提出する 預金通帳・通帳の届出印・年金手帳を持参してください	ご利用される金融機関または社会保険事務所へ	希望される振替開始月の前月中旬

町西菅野正照	町東名智龍男	宇和川由貴子
966・2217	966・2590	966・3291
		南方東
領家奈津子	大西隆子	宮田恵子
966・4054	966・2717	966・4289
		南方西
	大西久則	片岡秋利
	966・3417	966・4925
		主任児童委員
	高須賀久美枝	渡部洋美
	966・3161	966・3481

(敬称略)

募集します 東温市奨学生を

奨学金
高等学校等在学期間中
の一人あたり一か月10、
000円となります。

出願できる人

または、の要件を満たし、かつ、成績優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な者。ただし、東温市民に限る。

平成20年3月に市内中学校を卒業し平成20年4月から高等学校または高等専門学校へ入学する見込みの者。

市内中学校長の推せんする出願となります。

平成20年4月以降も引き続き
続いて高等学校等へ在籍する見込みの者。(既に
高校在学中の者)

出願書類

東温市奨学金運用規則に定める次の書類が必要です。

奨学生願書

(平成20年度分)

学校長の推薦書

健康診断書

所得証明書

選考及び決定

締め切り後、東温市奨学金運用委員会にて選

願を受け付けています。
ただし平成20年4月からの奨学生希望者の出願を受け付けています。

考し、3月末までに決定または却下が通知されます。

募集人数
若干名

受付期間

1月15日(火)

2月29日(金)

(期日厳守)

資料請求・問い合わせ先

資料の請求と問い合わせは次のところまでお願いいたします。

〒791 0292

東温市見奈良530 1

東温市教育委員会

学校教育課

☎964・4420



体育施設を管理する指定管理者を募集します!

指定管理者とは

従来、市などの地方自治体が設置する公の施設の管理は、市が直接行うほかは、地方自治法の規定に基づき、「管理委託制度」によって、市の出資法人や公共団体に限って行っていました。

しかし、平成15年の地方自治法の改正により、「指定管理者制度」が創設され、民間事業者など法人その他の団体であっても公の施設の管理運営を行うことができるようになりました。

この制度では、これまで公的団体等に限られていた公の施設の管理運営について、民間業者等も管理運営の代行が可能となりました。これにより民間の活力やノウハウを活用し、サービスの向上や経費削減が図られることが期待されています。

公の施設の管理運営を任せる民間事業者などのことを「指定管理者」といって、議会の議決を経

て市が指定します。個人は指定管理者になることはできません。

市では、まちづくりプランの主要な取り組み項目である「民間活力の活用」、「市民・民間団体との協働」の考えに基づき、指定管理者制度の導入を推進します。

指定管理者の募集は

市では、ツインドーム、農林業者トレーニングセンター、川内体育センターの3施設を一括して管理運営する指定管理者を募集します。詳細のお問い合わせは、次のとおりです。また、東温市のホームページからダウンロードできます。

資料請求・問い合わせ先

〒791 0212

東温市田窪2370

東温市教育委員会

生涯学習課

☎964・1500

ホームページ

<http://www.city.toon.ehime.jp/>

平成19年度 読書感想文審査結果報告

読書の楽しさを知り、読書意欲の向上を図るために東温市教育委員会で、読書感想文を募集しましたところ、小学生143点、中学生32点、高校生5点、一般1点合計181点の応募がありました。

登場人物への共感や新しい知識の発見など、読書から得た思いが豊かに表現されていました。多くの力作の中から、入賞されました35名の方を公表します。

(敬称略)

特選

- 東谷小学校 1年 長曾我部祐未
「おひめさまがつこうはたのしいよ」
- 南吉井小学校 3年 相原 大毅
「ゆりかごは口の中」を読んで
- 北吉井小学校 5年 伊東 彩織
「両親をしつけよう！」
- 西谷小学校 6年 笹部 隆人
ヒロシマを伝えよう
- 重信中学校 1年 井上宗治郎
「Good Luck」を読んで

入選

- 南吉井小学校 1年 相原 礼仁
- 拝志小学校 1年 小野植愛海
- 川上小学校 1年 渡部美咲子
- 北吉井小学校 2年 斉藤 衿亜
- 西谷小学校 2年 高須賀夢香
- 北吉井小学校 2年 兵頭 正子
- 拝志小学校 3年 石丸 万祐
- 川上小学校 3年 森 彩香
- 西谷小学校 3年 日野 萌香
- 北吉井小学校 3年 宮崎 諒也
- 南吉井小学校 4年 杉田悠美子
- 川上小学校 4年 高木沙也佳
- 拝志小学校 4年 津川 広子
- 上林小学校 4年 八木 悠太
- 南吉井小学校 5年 増田 有紗
- 東谷小学校 5年 清水 慧
- 西谷小学校 5年 上林ひなの
- 北吉井小学校 6年 山内 滉大
- 北吉井小学校 6年 重松 祥子
- 川上小学校 6年 渡部 友希
- 重信中学校 1年 高田ゆうき
- 川内中学校 1年 黒河 菜摘
- 重信中学校 2年 大西 棕子
- 川内中学校 2年 今井 絵理
- 重信中学校 3年 幸田しのぶ
- 重信中学校 3年 牧 美方子
- 川内中学校 3年 白石 結莉
- 東温高校 2年 山下真奈美
- 東温高校 3年 宇和川 恵
- 一 高須賀和恵

高齢になると、歯の数が少なくなったり、唾液の分泌が減ることで、栄養がとりにくくなったり、口内に細菌が繁殖しやすくなります。



「固いものが食べにくくなった」「お茶や汁物等でむせることがでてきた」「口の渴きが気になった」「など感じるようになった方、次の日程でお口の健康教室を開催しますので、是非ご参加ください。」

日時・場所
1月30日(水) 中央公民館
13時30分～15時
2月6日(水) 川内健康センター
13時30分～15時

「口腔ケアについて」講話後は歯科衛生士によるブラッシング指導があります。
講師 さくら歯科 医師 毛利武文 先生
参加費 無料
場所は、重信地区と川内地区で1回ずつ、参加者は各会場50名程度です。人数が多い場合は先着順です。
問い合わせ先 市役所 介護福祉課
☎964・4411
地域包括支援センター
☎955・0150

郷土史講座のご案内

日時 2月10日(日) 13時30分～15時
場所 中央公民館 2階 第1・第2研修室
講師 奈良芸術短期大学教授 前園實知雄 先生
演題 「大仏の来た道」
聴講料 無料 どなたでも聴講できます。



東温史談会では郷土史講座や史跡探検などを行っています。申込は電話1本でOKです。皆様のご参加をお待ちしています。

申込先 歴史民俗資料館 ☎964・0701